

大町病院だより

第23号

2010年
(平成22年)

5月15日

《病院理念》 私たちは、温かな心の通う医療を提供する病院を目指します。

〒398-0002 長野県大町市大町3130 市立大町総合病院 電話 0261-22-0415



目 次

P 2・3	… あいさつ
P 4	……… 新任医師紹介
P 5	……… 平成22年度新入職員紹介
P 6	……… 登録医の紹介 No. 4
P 7	……… 緩和ケア通信 No. 6
P 8	……… 診療表

《病院理念》

私たちは、温かな心の通う医療を提供する病院を目指します。

《基本方針》

- 1 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院づくりに努力します。
- 2 十分な説明を行ない、納得の得られる医療を提供します。
- 3 地域と連携のとれた病院を目指します。
- 4 思いやりのある、優れた職員を育てます。
- 5 健全で自立できる病院経営に努めます。

平成22年度の 年度始めのご挨拶



病院事業管理者
赤羽 賢浩

日頃、大北地域の皆様、市民の皆様には、大町病院を何かとご支援頂き、誠に有難うございます。市立大町総合病院では、平成22年度は合計6名の医師の交代ないし増員がありました。医師の増員は、大町病院にとりましては久々の慶事ではありますが、これも多くの皆様方の暖かいご支援があった結果であり、関係各位には深く感謝を申し上げたいと存じます。

更に、昨年度末は定年退職等により退職者が多くなった結果、今年度は看護部をはじめコメディカルにも、多数の新人が加わり、病院内には新鮮な気分が充満しています。

また、3月には、大嶽院長、鎌倉副院長、高橋看護部長が定年等により退職され、今年度より、山田院長、深松副院長、新津副院長

矢口看護部長等の新体制で「市立大町総合病院の再興」をめざして行くことになりました。

市立大町総合病院は「大北地域の地域医療の後方支援病院」の使命を負っており、医師の増員と病院役職員の交代のこの機会をキッカケに、危機に瀕している大北地域の地域医療の再興と、更なる充実を目指して、病院が一丸となって頑張っ行こうと決意を新たにしております。

着任医師6名のうち、2名は呼吸器内科を専門にしており、大町病院の伝統である呼吸器疾患への対応が再び充実してることが期待されます。また、2名は消化器内科を専門にしており、現在、大北地域には消化器内科を専門とする勤務医がいなかったことを考慮しますと、消化器内科の存在は大きく、全力を挙げて今後の発展に繋げて行こうと考えております。更に、ソーシャルケースワーカー、理学療法士等の増員も、病院機能の充実に大きく寄与してくれるものと確信しております。

尚、山田新院長は大町病院の勤務が長く、大北地域の医療事情も熟知しておりますので、今後の大町病院の充実発展の先頭になって頂くのには、最も適した人選であったと思います。山田新院長を中心とした新しい病院役職員の見識と活躍に期待して頂きたいと思っております。

引き続き、大町病院へのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

院長就任挨拶



院長
山田 博美

このたび大嶽先生の後任として院長職を拝命いたしました。微力ながら最善を尽くしたいと思っております。

振り返りますと当院は昭和2年創立の由緒ある病院です。幾多の先人の努力により実績が積み重ねられ発展してきた結果現在の大町病院があります。残念ながら全国的な医療混乱に巻き込まれ、戸惑っている状況ですが、光は見え始めています。と言いますのも行政からの援助体制が整いつつあり、また信大からも助力の手が差しのばされてきているからです。病院としても、住民の皆さんへの地域医療に理解を求める働きかけを行い始め、これが浸透し始めています。しっかりと羅針盤の元、進んでゆきたいと思っております。

当院の目標としては良好な医療の構築（温かく心のこもった医療）であることに変わりありません。住民の皆さんが安心して生活できる病院機能を構築していきたいと思えます。現実的には医師不足の状況で急性疾患から慢性疾患まで全てに当院で対処することは不可能ですので周囲の病院との連携でそれぞれの対応をきちんと決めておくことが大切だと思います。具体的には超急性期の診療が必要なものは脳血管障害と心筋梗塞ですが、いずれも関連病院が決まっており、搬送後即治療が行えます。超急性期が過ぎれば当院での治療に転換できます。一般の疾患については内科がその門戸となる事が多いですが、医師の確保により診療可能な疾患の幅が広がりました。すなわち呼吸器・循環器・消化器・肝臓病・腎臓・血液・糖尿病などです。病名が不明な場合は総合診療科も設置されています。外科は消化器が専門ですが一般外科他広く対応できます。産婦人科医や小児科医もそろっています。専門医がいないときは責任を持って該当医を紹介します。また高齢化社会に突入しつつある現在、高齢者医療は避けて通れないところで、当院では療養病棟・亜急性病床を有し、老健施設を併設していますので、これらを有機的に運用してゆきたいと思えます。

以上就任挨拶とさせていただきますが、よろしくお願い申し上げます。

4月から新体制でスタート

平成22年4月より、新しい院長に山田博美医師（内科）、副院長に深松義人医師（産婦人科）と新津義文医師（内科）が就任し新体制となりました。

退職された大嶽富夫医師（小児科）、北原修医師（内科）、鎌倉貞夫医師（整形外科）には、引き続き外来診療を担当していただきます。内科医師も増え、外来診療表にも変更がありますのでご確認ください。（8面をご覧ください。）主なスタッフは次のとおりです。

医師及び主なスタッフ

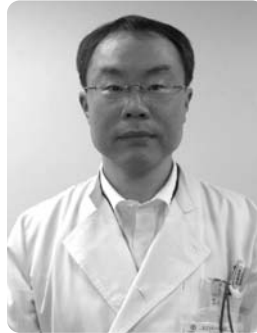
病院事業管理者	赤羽 賢浩	小児科	科長(兼)	遠藤 優子
院長	山田 博美		医長	北村 真友
副院長	深松 義人	外科	科長(兼)	高木 哲
副院長	新津 義文		医長	山本 浩二
事務長	牛越 寛		医長	窪田 晃治
診療部長(救急医療担当)	白井 清彦	整形外科	科長(兼)	下川 寛一
診療部長	井上 善博			伊藤 仁
感染症対策部長	遠藤 優子	皮膚科	科長(兼)	松本 祥代
医療情報部長	下川 寛一	泌尿器科	科長(兼)	井上 善博
医療社会事業部長	後藤 紀史		医員	中藤 亮
医療安全部長	高木 哲仁	産婦人科	科長(兼)	深松 義人
副医療社会事業部長	伊藤 仁		医員	原 きく江
副医療情報部長	松本 祥代	麻酔科	科長(兼)	白井 清彦
内科	後藤 紀史	リハビリテーション担当	科長(兼)	伊藤 仁
	山田 博美	看護部長		矢口 恵子
	新津 義文	副看護部長		清水 香代子
	吉田 憲司	副看護部長		西澤 千文
	林田 美江	診療技術部長		北原 邦彦
	鈴木 敏郎			

＜訂正とお詫び＞

大町病院だより第22号5ページ下段「注2：クレアチニンから自分の腎機能を計算する方法」の計算式が「 $(140 - \text{年齢}) \times \text{体重} / 72 \times \text{血清Cr}$ 」とありますが、正しくは「 $(140 - \text{年齢}) \times \text{体重} / (72 \times \text{血清Cr})$ 」でした。それにより例の計算も $(140 - 60) \times 60 / (72 \times 2.5) = 26.7$ となります。お詫びして訂正いたします。

新任医師紹介

- ① 氏名 (よみがな)
- ② 診療科
- ③ 得意分野
- ④ 趣味・特技
- ⑤ コメント



(よしだ けんじ)

- ① 吉田 憲司
- ② 内科
- ③ 消化器内科、特に脾・胆領域、上部消化管内視鏡

⑤ 4月より大町病院にお世話になっております。

消化器内科、特に脾・胆領域、上部消化管内視鏡を専門としています。

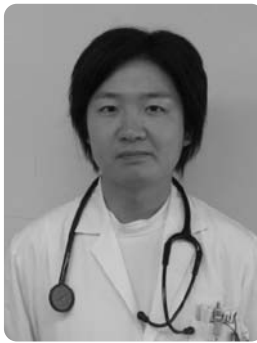
何卒よろしくお願い申し上げます。



(はやしだ みえ)

- ① 林田 美江
- ② 内科
- ③ 一般内科、呼吸器内科
- ④ バイオリン、オルゴール、ろうそく(集めたり作ったり)、旅行

⑤ 8年ぶりに常勤として戻って参りました。短時間雇用制度を適用していただきましたので、他の先生方と違い9時から16時の勤務となり、また大学での外来診療へ週に一度(水曜)参加することになっていますので、不在のこともあります。誠意をもって診療にあたる所存です。ご指導のほど宜しくお願いいたします。



(すずき としろう)

- ① 鈴木 敏郎
- ② 内科
- ③ 一般内科、呼吸器内科
- ④ バイクツーリング

⑤ 昭和52年、福島県生まれ。平成14年、信州大学卒。このたび信州大学呼吸器・感染症内科転任となりました。大町病院では主に一般内科・呼吸器内科を担当させていただきます。まだまだ未熟ではありますが、地域の皆さまのお役に立てる様、尽力させていただく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



(きたむら まさと)

- ① 北村 真友
- ② 小児科
- ③ 小児科(循環器、新生児)、救急科
- ④ サッカー、スキー、読書

⑤ はじめまして北村真友と申します。小児科9年生+救急科3年生です。学生時代から主に雪の時期に大町 白馬を訪れ、医師になってからも当地での診療にホノカな憧れを抱いておりました。大北地方での診療と生活を楽しみにしています。ご指導の程宜しくお願いいたします。



(なかとう りょう)

- ① 中藤 亮
- ② 泌尿器科
- ③ 泌尿器科一般
- ④ マラソンなど

⑤ 大町市の医療に貢献できるように頑張っています。と思います。

よろしくお願い申し上げます。

平成22年度

新入職員紹介

①氏名
②職種

③所属部署
④抱負・自己PR



①藤井 静香 (ふじい しずか)
②助産師
③看護部 4階西病棟
④安全で安心なお産となるようお手伝いします。病棟で会った際には気軽に声をかけてください。よろしくお願いします。



①田辺 翠 (たなべ みどり)
②看護師
③看護部 5階東病棟
④患者さんに喜んでもらえる看護を行っていききたいと思います。よろしくお願いします。



①荻久保 弘子 (おぎくぼ ひろこ)
②看護師
③看護部 3階東病棟
④患者さんの気持ちに寄り添い、看護させていただきます。よろしくお願いします。



①松澤 隆之 (まつざわ たかゆき)
②看護師
③看護部 手術室・中央材料室
④周りの人に対して自分が今、出来る事を少しずつ確実に出来るように勤めていきたいと思っています。宜しくお願いします。



①松澤 哲也 (まつざわ てつや)
②作業療法士
③診療技術部 理学療法室
④大好きな信州に戻り、仕事ができることを嬉しく思います。患者様や先輩方と心の通う取り組みができる様頑張ります。



①関根 美香 (せきね みか)
②理学療法士
③診療技術部 理学療法室
④東京出身です。早く大町のことばや寒さに馴染めるように、そしてPTとして技術向上を目指し頑張ります。よろしくお願いします。



①松澤 恵美 (まつざわ めぐみ)
②診療放射線技師
③診療技術部 放射線室
④周囲に目を向ける事の出来る、患者さんに、職員に、患者さんの家族に目を向けていられる人間でありたいと思っています。



①森上 胤矩 (もりかみ かずのり)
②診療放射線技師
③診療技術部 放射線室
④新卒として今年から大町病院の放射線室に配属となります。常に思いやりの心を持って勤めたいと思っています。



①吉田 明弘 (よしだ あきひろ)
②臨床検査技師
③診療技術部 臨床検査室
④自分のできることを少しずつ増やしていった、一日でも早く業務に慣れていこうと思っています。よろしくお願いします。



①猿田 ひかる (さるた ひかる)
②臨床検査技師
③診療技術部 臨床検査室
④安曇野市堀金から通っています。笑顔を大切に頑張っていきますのでよろしくお願いします。



①室橋 瑞穂 (むろはし みずほ)
②管理栄養士
③診療技術部 栄養室
④この春に学校を卒業し、国試合格後に管理栄養士として働きます。社会人として未熟な面もありますが1日も早くなじめる様努めます。



①古幡 未来子 (ふるはた みきこ)
②社会福祉士
③医療社会事業部 地域医療福祉連携室
④大町病院の一員となることができ、とても嬉しく思っています。日々勉強しながら頑張りますので、皆さんよろしくお願いします!!



①早川 かよ (はやかわ かよ)
②社会福祉士
③医療社会事業部 地域医療福祉連携室
④4月から医療ソーシャルワーカーとして入職しました。早く職場に慣れて患者様、ご家族の支援に携われるよう頑張りたいと思います。

登録医の紹介

登録医とは、患者に対して一貫性のある医療を提供できるように協力体制をとっていただける地域の先生方です。

石曽根医院

今号のシリーズ「登録医紹介」では、登録医No.4 石曽根滋雄先生(石曽根医院)を訪問させていただきました。診療のお忙しい中、石曽根先生と奥様の優しい笑顔が出迎えて下さいました。貴重なお時間を頂き、有難うございました。

(聞き手・地域医療福祉連携室 高橋)



—主な診療科は？

専攻している外科の他に内科と整形外科を診療しています。私が医師として育った時代は全国的にダム建設の隆盛期でした。若い頃は医局から建設現場に派遣され、1人で

何から何まで診療していました。山梨県のダム建設現場でも仕事をしていました。そこ

は甲府まで4時間位かかるような場所、雨が降ると陸の孤島になるような場所でした。なので、全て診療所に対応

しないといけないという厳しい環境でした。特別な医療器材のある場所ではなかったの

で、事務機をくっつけて盲腸の手術をしたこともあり、まるで野戦病院のようでしたよ(笑)。

●実は、訪問日がお誕生日

—今年で開業何年目ですか？

今年で46年目になります。実は今日で79歳になります。思い起こせば、今の時代では想像もできないところへ派遣

—今年で開業何年目ですか？

今年で46年目になります。実は今日で79歳になります。思い起こせば、今の時代では想像もできないところへ派遣

—今年で開業何年目ですか？

今年で46年目になります。実は今日で79歳になります。思い起こせば、今の時代では想像もできないところへ派遣

—今年で開業何年目ですか？

今年で46年目になります。実は今日で79歳になります。思い起こせば、今の時代では想像もできないところへ派遣

—今年で開業何年目ですか？



されて訓練していました。今となると、当時の経験は良い経験で外科医として必要なことを色々と教わりましたよ。

—診療で大切にされていることは？

この地域は整形外科の患者も多かったりするので、専門とする外科だけでなく総合医として仕事をすること、これが肝心です。早期に適切な判断をして、適切な病院を紹介することが大事なことだと思います。又患者さんとの良好な関係作りにも必要なことだ

—医師を志した理由をお聞かせいただけますか？

実家は農家でした。実兄が医師であったこともあるけれど、実弟が病気で亡くなったことが医師を志した転機でした。

—次世代に地域医療を残すために

—地域医療については？

これからの時代は病院と開業医が役割分担していくことが大事です。大町病院には脳神経外科がないので、その点が地域の医療力として心配です。この点については、信州大学の方へも次の世代へ地域の医療をどういう風に残していくか、ということを見ているところでは

—地域医療については？

これからの時代は病院と開業医が役割分担していくことが大事です。大町病院には脳神経外科がないので、その点が地域の医療力として心配です。この点については、信州大学の方へも次の世代へ地域の医療をどういう風に残していくか、ということを見ているところでは

—地域医療については？

これからの時代は病院と開業医が役割分担していくことが大事です。大町病院には脳神経外科がないので、その点が地域の医療力として心配です。この点については、信州大学の方へも次の世代へ地域の医療をどういう風に残していくか、ということを見ているところでは

—地域医療については？

これからの時代は病院と開業医が役割分担していくことが大事です。大町病院には脳神経外科がないので、その点が地域の医療力として心配です。この点については、信州大学の方へも次の世代へ地域の医療をどういう風に残していくか、ということを見ているところでは

—地域医療については？

これからの時代は病院と開業医が役割分担していくことが大事です。大町病院には脳神経外科がないので、その点が地域の医療力として心配です。この点については、信州大学の方へも次の世代へ地域の医療をどういう風に残していくか、ということを見ているところでは

—地域医療については？

●相互理解を深めて

—大町病院へ望むことは？

病院が赤字になるのは当たり前です。国の制度の仕組みが間違っていると考えています。それよりも「大町病院が地域に必要な病院で、なくてはならない病院で、どういう風に盛り立てていくかということが最も大事だと考えています。地域の皆さんには是非、大町病院を応援してもらいたい。大町病院は地域に必ず必要な病院です。患者が安心して受診できる病院づくりを、地域と病院が相互理解を深めて取り組んでもらえれば嬉し

—大町病院へ望むことは？

病院が赤字になるのは当たり前です。国の制度の仕組みが間違っていると考えています。それよりも「大町病院が地域に必要な病院で、なくてはならない病院で、どういう風に盛り立てていくかということが最も大事だと考えています。地域の皆さんには是非、大町病院を応援してもらいたい。大町病院は地域に必ず必要な病院です。患者が安心して受診できる病院づくりを、地域と病院が相互理解を深めて取り組んでもらえれば嬉し

—大町病院へ望むことは？

病院が赤字になるのは当たり前です。国の制度の仕組みが間違っていると考えています。それよりも「大町病院が地域に必要な病院で、なくてはならない病院で、どういう風に盛り立てていくかということが最も大事だと考えています。地域の皆さんには是非、大町病院を応援してもらいたい。大町病院は地域に必ず必要な病院です。患者が安心して受診できる病院づくりを、地域と病院が相互理解を深めて取り組んでもらえれば嬉し

—大町病院へ望むことは？

病院が赤字になるのは当たり前です。国の制度の仕組みが間違っていると考えています。それよりも「大町病院が地域に必要な病院で、なくてはならない病院で、どういう風に盛り立てていくかということが最も大事だと考えています。地域の皆さんには是非、大町病院を応援してもらいたい。大町病院は地域に必ず必要な病院です。患者が安心して受診できる病院づくりを、地域と病院が相互理解を深めて取り組んでもらえれば嬉し

—大町病院へ望むことは？

病院が赤字になるのは当たり前です。国の制度の仕組みが間違っていると考えています。それよりも「大町病院が地域に必要な病院で、なくてはならない病院で、どういう風に盛り立てていくかということが最も大事だと考えています。地域の皆さんには是非、大町病院を応援してもらいたい。大町病院は地域に必ず必要な病院です。患者が安心して受診できる病院づくりを、地域と病院が相互理解を深めて取り組んでもらえれば嬉し

—大町病院へ望むことは？

病院が赤字になるのは当たり前です。国の制度の仕組みが間違っていると考えています。それよりも「大町病院が地域に必要な病院で、なくてはならない病院で、どういう風に盛り立てていくかということが最も大事だと考えています。地域の皆さんには是非、大町病院を応援してもらいたい。大町病院は地域に必ず必要な病院です。患者が安心して受診できる病院づくりを、地域と病院が相互理解を深めて取り組んでもらえれば嬉し

—大町病院へ望むことは？

病院が赤字になるのは当たり前です。国の制度の仕組みが間違っていると考えています。それよりも「大町病院が地域に必要な病院で、なくてはならない病院で、どういう風に盛り立てていくかということが最も大事だと考えています。地域の皆さんには是非、大町病院を応援してもらいたい。大町病院は地域に必ず必要な病院です。患者が安心して受診できる病院づくりを、地域と病院が相互理解を深めて取り組んでもらえれば嬉し

—大町病院へ望むことは？

病院が赤字になるのは当たり前です。国の制度の仕組みが間違っていると考えています。それよりも「大町病院が地域に必要な病院で、なくてはならない病院で、どういう風に盛り立てていくかということが最も大事だと考えています。地域の皆さんには是非、大町病院を応援してもらいたい。大町病院は地域に必ず必要な病院です。患者が安心して受診できる病院づくりを、地域と病院が相互理解を深めて取り組んでもらえれば嬉し

—大町病院へ望むことは？



▽石曽根滋雄先生

プロフィール

昭和6年生まれ。今年で開業46年目。信州大学医学部を卒業後、結婚を機に市内で開業。専攻する外科だけでなく、地域の総合医として診察されています。

所在地

大町市大字大町八日町2571

電話

0261-22-0142

診療科目

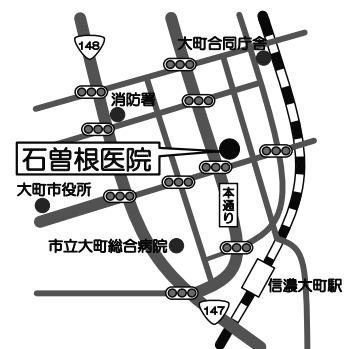
内科、外科、整形外科

診療時間

・9:00~12:00、13:00~17:30(月~金)
・9:00~12:00(土) ※受付は11:00まで

休診日

日曜日、祝日、土曜日午後



緩和ケア通信

—No.6—

がん患者さんの 症状について

外科 高木 哲



がんといっても、全身のあらゆる臓器にできますから、原発臓器により、当然症状も様々です。まず、『がん』とはそもそもどんな病気でしょうか？

人間の体は、60兆個もの細胞からできています。細胞は周囲の組織とうまく調和を保つよう自らを制御し、増えすぎず減りすぎず、適度な数が保たれています。これは、細胞の中の遺伝子が正確に働いて、細胞の機能を適切にコントロールしているからです。

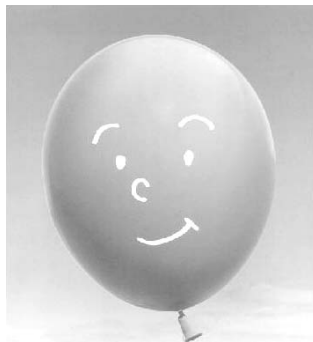
ところが細胞が分裂を繰り返しているうちに遺伝子に異常が起こると、細胞をコントロールする機構がうまく働かなくなる場合があります。その結果、自分勝手にどんどん増え続けるような細胞が発生することになります。これががん細胞です。

がん細胞には3つの特徴があります。

- ①無制限な増殖を繰り返す（自律性増殖）
- ②周囲の組織に広がったり（浸潤）、他の臓器に移ったり（転移）する
- ③栄養分を奪う（悪液質）

健康な人でも1日2千、3千個のがん細胞がからだの中で発現しているといわれています。しかしすべての人にがんが発症しないのは、からだの中で正常な免疫力が働いてがん細胞を排除しているからです。

がんとは、人間の体の中で行われている、がん細胞と免疫力の綱引きの結果、排除できなくなったがん細胞が成長して発症する病気なのです。



では、がんの症状にはどんなものがあるのでしょうか？共通する症状としては、

- ①痛み ②食欲不振
- ③体重減少（やせ、悪液質）
- ④むくみ、腹水、胸水
- ⑤発熱（腫瘍熱） ⑥うつ状態

などがあります。これらの多くは、生命力旺盛ながんが、食事や点滴で入れた栄養をどんどん摂取して無制限に

増殖していくために起こります。そして癌で余命わずかを知った人の多くは、程度の差はあれ、不眠、脱力感、意欲低下、怒り、あきらめなどを感し、うつ状態を呈します。

その他に、それぞれのがんによって様々な症状が現れます。胃がんや大腸がんなどの消化器のがんでは、腹痛、吐き気、食欲不振の他に、がんからの出血による下血、貧血や排便障害などがあります。

また肝臓、胆嚢、胆管などのがんでは、腹痛や黄疸などがあります。乳がんではしこりを触れ、進行すると皮膚潰瘍を形成したり、リンパ浮腫で手が腫れてしまうこともあります。

腎臓、尿管、膀胱などの泌尿器のがんでは血尿や水腎症などがあります。卵巣、子宮など婦人科のがんでは腹水貯留や不正出血など、肺がんでは血痰や胸水貯留、呼吸困難などがあります。骨転移など骨のがんでは痛みや病的骨折があります。脳腫瘍では占拠部位によって異なる神経症状（めまい、吐き気、視力や聴力の異常、精神症状）を呈します。

これらのがんによる様々な症状に対して、薬剤を用いて症状を抑えたり、精神的なケア

（時には専門医による）を行って行くのが緩和ケアです。そしてこれはがんの末期になってから始めるのではなく、抗がん剤治療をしているようながん治療の初期から始めようというのが現在の考え方です。

もちろん早期発見でがんを治す事が一番ですが、もし治す事ができないがんにかかった場合は、考え方を転換するしかありません。緩和ケアを積極的に用い、がん仲間と良く共存していきましょう。がん細胞も自分の体の一部です。敵視するよりは、共に生きて行くというスタンスに立った方が、楽な気持ちで生きて行けるかもしれません。

当院では、認定看護師の柳沢さんを中心に、緩和ケアチームが活動をしています。がんの治療中でお困りの方は、当院緩和ケア相談窓口（地域医療福祉連携室）まで御連絡ください。

ご質問・ご要望は...

〒398-0003
大町市大町3130番地
市立大町総合病院
地域医療福祉連携室
まで

TEL: 22-6851
FAX: 22-6852

外 来 診 療 表

平成22年 5月 1日現在

総合診療 受付時間 午前 8 時から午前 4 時 30 分まで (月曜日の内科は午後 4 時まで)						
診察室 (診療時間)	月	火	水	木	金	土
内科 (終日)	(中澤 勇一)			(中澤 勇一)		
外科 (午後 2 時～)		山本 浩二	窪田 晃治		高木 哲	

一般外来 受付時間 午前 8 時から午前 11 時 30 分まで (土曜日は午前 10 時 30 分まで)							
		月	火	水	木	金	土
内 科	1 診	山田 博美 (循環器)	赤羽 賢浩 (肝臓)	新津 義文 (腎臓・血液・感染症)	(牛木淳人/堀内俊道) (呼吸器)	北原 修 (腎臓・糖尿病)	(漆畑 一寿) (呼吸器)
	2 診	百瀬 邦夫	林田 美江 (呼吸器)	百瀬 邦夫	赤羽 賢浩 (肝臓)	(小林 信光) (呼吸器)	
	3 診	新津 義文 (腎臓・血液・感染症)	北原 修 (腎臓・糖尿病)	山田 博美 (循環器)	(小口 泰尚) (循環器)	鈴木 敏郎 (呼吸器)	
	4 診	総合診療	吉田 憲司 (消化器)	鈴木 敏郎 (呼吸器)	総合診療	林田美江/吉田憲司	
	5 診	(小林 隆洋) (循環器)	後藤 紀史 (循環器)		後藤 紀史 (循環器)	(南澤 綾子) (循環器)	
漢方外来 (東洋医学) 午後 3 時 30 分まで受付					藤巻 達男 午後 2 時～		
小児科	午 前	北村 真友	遠藤 優子	北村 真友	遠藤 優子	(小林 法元)	大嶽 富夫
	午 後 【 予 約 制 】	腎臓・血液など 慢性疾患外来	乳児健診、発育 外来、循環器外来	神経外来	(第 2・4 週) 予防接種		
外 科	一 般 外 来	高木 哲 山本 浩二	窪田 晃治 山本 浩二	高木 哲 窪田 晃治	交代制	窪田 晃治 高木 哲	(信 大)
	乳 腺 外 来 午前 10 時まで受付					小池 綏男	
	心臓・血管外来 午後 4 時まで受付					(信 大) 午後 2 時～	
整 形 外 科		下川 寛一 伊藤 仁	鎌倉 貞夫	伊藤 仁	鎌倉 貞夫	下川 寛一	鎌倉 貞夫
脳 神 経 外 科					(伊東 清志)		
皮膚科	午 前	松本 祥代	松本 祥代	松本 祥代	(中藤 奈美)	松本 祥代	松本 祥代
	午 後 午後 3 時まで受付			子供/専門外来 午後 2 時 30 分～			
泌 尿 器 科		井上 善博	柳沢 温	中藤 亮	井上 善博	中藤 亮	井上(第 2 週) 中藤(第 4 週)
産 婦 人 科		深松 義人	原 きく江	(大平 哲史)	深松 義人	原 きく江	(岡 賢二)
眼 科 【 予 約 制 】		(山本 裕香)		(千葉 大)		(黒川 徹)	(山本 裕香)
耳 鼻 咽 喉 科 火曜は午後 3 時 30 分まで受付			(信 大) 午後 2 時～				(矢野 卓也)
形 成 外 科 午後 4 時まで受付			(伴 碧) 午後 2 時～				

※眼科外来は紹介状をお持ちの方のみ事前予約が可能となっています。詳しくは眼科外来までお電話ください。

※診察券 (プラスチックカード) は全科共通です。保険証と共に忘れずにお持ちください。

※再来受付機は、保険証を 3 ヶ月以上提示いただかないと利用できなくなります。(1 番総合窓口にお越しください)

市立大町総合病院 TEL 0261-22-0415